



CDと歌詞や自分の地域おこしの取り組みを載せた冊子を手にする古屋さん（神奈川県南足柄市で）

若者の郷愁つづる

神奈川県南足柄市の農家、古屋富雄さん（62）が作詞・作曲し、10月にCDとなったフォークソング「過疎」が、東京・日比谷公園で14、15日に開かれる農業のイベント「ファーマーズ&キッズフェスタ2015」で披露される。歌うのは1972

神奈川の農家フォーク「過疎」お披露目

年に自動車のCMソング「ケンとメリー〜愛と風のように」をヒットさせたフォークグループ「BUZZ（バズ）」の東郷昌和さん（63）。深みのある歌声とギターの音色が郷愁を誘う。

ギターは、歌手・荒井（松任谷）由実さんのバックバンドを務めた平野融さん（62）。カップリング曲「遠い思い出」と共に古屋さんが学生時代に作ったもので、高度経済成長の中で村に残る若者の心情をつづっている。

古屋さんは、CDを発売のために妻の名から付けた「さとみレーベル」を立ち上げ、初回分として2000枚を制作。インターネット上で販売している。

ステージは14日午後1時半からで、自身が栽培する花をテーマにした地域おこしトークの後、東郷さんと平野さんが2曲を披露する。